

教友

第94号

目次

埼玉大学創基百五十周年に寄せて	坂井 貴文…1	教採合格者から後輩へのアドバイス	…6
埼玉大学教育学部の将来に向けて：堀田 香織…2	同窓生としての絆を深める卒業五X周年	キャンパスライフ サークル紹介…8	
同窓会の一層の進展を…松澤 勇治…3	同窓会の広場…11	卒業五X周年同窓会開催等案内	…23
教職支援委員会から…4	芸術専修園工美術分野 石上研究室	令和五年度教友会事業報告…24	
模擬個人面接を通して、模擬個人面接を受けて…5	同窓生の広場…11	埼玉大学ホームカミングデー…25	
	卒業五X周年同窓会報告…17	令和五年度定期総会報告…26	
		令和五年度教友会役員名簿・学年理事名簿…30	
		事務局だより・編集後記…32	



埼玉大学創基百五十周年に寄せて

埼玉大学長 坂井 貴文

今年度のホームカミングデーでは、埼玉大学創基百五十周年を記念して、同窓会顧問金子美智雄先生と図書館長井上智勝先生に埼玉県師範学校と旧制官立浦和高等学校の歴史に関するご講演をいただき大変好評でした。ご講演から明治初期の文教政策に興味を持ったので、少し調べてみました。

まず、文部省が明治四年に設置され、翌年、身分・性別問わずに基礎的な知識の教育を宣言した、現代から見ても開明的な内容の学制が頒布されています。全国に五万校以上の小学校を造ることが計画され、小学校教員の養成が急務となりました。これを受け、埼玉県では明治六年に改正局を設置し、これがのちに埼玉師範学校となり埼玉大学へつながります。こ

の頃は明治になってまだ日も浅く、散髪脱刀令、廃藩置県、新通貨制度、鉄道営業開始、太陽暦の採用など新しい時代に相応しい施策が次々と実行に移された一方で、現在の埼玉県の版図が入間県や熊谷県との分離や合併などで度々変化したことが象徴するように、試行錯誤を繰り返す混乱の時代でもありました。新しい時代が始まる興奮と共に将来が見通せない不安の時代でもあったに違いありません。

このような中、教育の理想を追求し教育制度を整えていった先人たちの努力と深い洞察は驚嘆に値します。近年、明治初期のような大きな混乱の状態をVUCAと呼ぶようになりまし。この言葉は、変動性(Volatility)、不確実性(Uncertain

ty)、複雑性(Complexity)、曖昧性(Ambiguity)の頭文字を採ったもので、変化が激しくて従来の常識や過去からの外挿では予想ができず、様々な要因が複雑に絡み合い対処方法が簡単には見つからない状態を言います。元々は冷戦後に取るべき戦略の複雑性を表す軍事用語だったということですが、最近では災害発生時にも使われ、コロナパンデミック時の社会の混乱を思い返すとVUCAがよく理解できます。一方、現代の世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとパレスチナの戦闘が象徴する国や民族の分断による紛争の激化、地球温暖化、地球規模での食糧不足などの困難な問題が起きています。加えて、AI、情報、ロボットなどの

や生徒を取り巻く生活環境の変化、国際化などから今までの知識や経験を超える質的に異なる対応が求められ、併せて今後のデジタル技術の進歩は教育に大きな影響を及ぼすことは必至で、教育手法はもろろ子供たちに必要な教育の内容容までも変わらざるを得ません。今後、様々な混乱が予想されることから教育の分野もVUCAの時代を迎えていると言えるかもしれません。これらの変化は我々を不安にさせますが、同時にデジタルツールの活用による個々の生徒の学習進度に合わせたきめ細かな指導やe-learningによる個別学習を活用した教育等への展開はもろろん教員の事務負担の軽減を考慮すると、教育界は多くの可能性に満ちているとも言えます。

技術革新による産業構造の変化が進み、今までに経験したことのない変革の時代がやってきています。現代はVUCAの時代に入ったと言えるでしょう。我が国の教育界も、少子化はもろろZ世代やa世代に特徴付けられるデジタルネイティブの出現

しながら、新技術を活用し、次世代の子供たちにVUCAの時代を生きる力をつけていかなければならないと思います。